



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2020年9月30日



SDG s推進委員会

委員からは「SDG sへの取り組みは仕事を守り、地域を守ることにつながり、地域のサステナビリティ(持続可能性)が図られる」「問屋町エリアをブランディングすることそのものがSDG s実践につながる」などの意見が寄せられた。

当委員会を中心に、組合員と一体となったSDG sへの取り組み方を1年かけて検討し、とりまとめた内容は報告会等で組合員へフィードバックする。

組合からは「SDG sへの取り組みは仕事を守り、地域を守ることにつながり、地域のサステナビリティ(持続可能性)が図られる」「問屋町エリアをブランディングすることそのものがSDG s実践につながる」などの意見が寄せられた。

当委員会を中心に、組合員と一体となったSDG sへの取り組み方を1年かけて検討し、とりまとめた内容は報告会等で組合員へフィードバックする。

組合では今年度からSDG sに積極的に取り組んでいくこととし、検討機関としてSDG s推進委員会を立ち上げた。

SDG s(エスディージーズ)とは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに国、自治体、企業、団体

などあらゆる主体が関わって解決していくべき国際目標のこと。気候変動や格差など、幅広い課題の解決を目指し、持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)を設定。また、それを細かく具体化する169のターゲットが掲げられている。

組合の企画情報委員会の下に新たに設置されたSDG s推進委員会では、青森大学SDG s研究センターのメン

SDG sへの取り組みスタート

SDG s推進委員会新設

バーである同大学の櫛引教授が委員長を務め、企画情報副委員長やSDG sに既に取り組んでいる組合員に加え、学識経験者ら8名で構成される。

8月27日(木)に開催された第1回委員会では、SDG s実践組合員が自社の取り組みについて紹介。また事務局が組合の取り組み3つの(経済的・社会的・文化的)価値創出事業について説明した。

組合で実施してきた共同事業等には17のゴールに向けた取り組みが多分に含まれており、今後はそれを見える化し、更なるニーズがないか検討する。また組合員を対象にアンケート調査を実施して現状を確認し、組合員サポートや啓蒙活動にも取り組むこととした。



ドローンによる農薬散布デモ

ドローン会社新設

組合員のコクサイ通信特機(株)が、ドローン事業を手掛けるコクサイ無人航空機(株)(代表取締役中村真氏)を新設した。同社は、ドローンの販売やメンテナンスを行うほか、ドローンを使った農薬散布も請け負う。

近年、ロボット技術やICTを活用して省力化や高品質生産を進めるスマート農業が日本各地で実践されてきている。農薬散布も従来は人力で散布するかヘリによる空中散布が主流だったが、人力では1ha散布するのに1時間以上かかっていたものがドローンだと10分程度で完了。また、ドローンはヘリに比べて小回りが利くので、したい時にしたい場所だけピンポイントに散布可能で、今後ますます需要が増すことが期待される。

成長分野に進出した同社は、青森銀行が「あおぎん地域貢献ファンド」を通じて投資するなど、注目度が高まっている。

SDG s 17のゴール紹介

今号より、SDG sの目指す17のゴールをシリーズで紹介する。

① 貧困をなくそう

1日1ドル25セント(日本円で約131円)未満で生活する人々と定義されている極度の貧困や、各国定義によるあらゆる貧困をなくすというもの。

課題解決に向けた取組事例としては、募金活動やフェアトレード商品の購入など。

② 飢餓をゼロに

飢餓をなくし、食料安全保障や栄養改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進するという目標を簡単に組み組めるのが食べ残しをゼロにすること。

宴会時に30・10(さんまるいちまる)運動を実践し、会食や宴会時に最初の30分と最後の10分は自分の席で食事をし、食べ残しを減らす。

③ すべての人に健康と福祉を

全人類の健康的な生活を確保し、福祉を推進するというもの。

健康経営の実践や発展途上国にワクチンを寄贈する団体にペットボトルのキャップを回収して寄付することも課題解決につながる。

組合員施設の売却等について承認 第5回理事会

第5回理事会が8月24日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

主な案件審議は次のとおり。

- 案件一：組合員施設の売却及び既存組合員の買増承認について
案件二：つなぎ資金の借換について
案件三：2020年度第6回理事会の日程等について

組合員昼食会

今年度1回目となる組合員昼食会が8月6日(木)に問屋町会館2階大会議室で開催され、組合員ら48名が参加した。コロナ禍で初の開催となった同昼食会では、参加者の検温や手指消毒、会場の換気に加え、ソーシャルディスタンス確保のため1卓を1人で使用するなど、感染防止策を講じて行われた。

はじめに青森市保健所保健予防課の担当者が、職場における新型コロナウイルス感染症対策について説明。「コロナウイルスは密閉、密集、密接の3つの密を避けるだけで

街路樹の下枝などを伐採 問屋町緑のボランティア隊

8月23日(日)、問屋町緑のボランティア隊による団体内美化活動が行われ、隊員とその家族30名が参加した。

今回は、問屋町地区の幹線道路及び北側枝線道路の街路樹下枝刈りや街路樹の除草作業を実施。当日は厳しい残暑の中、隊員らは生い茂った下枝や雑草に悪戦苦闘しながら大量の汗を流して作業に励んだ。

隊員の懸命な作業により、作業は2時間ほどで終了。下枝が伸びて見通しが悪くなった

かなりの感染予防になる。また、30秒間念入り手洗いするとかんがりのウイルスや細菌を洗い流せる」と話し、手洗いを指し示した。

職場での対策として「社員や来客の動線にある物や場所をこまめに消毒すること。石けん、アルコール、塩素系漂白剤、家庭用洗剤、次亜塩素酸水を用い、拭く時は往復せず一方方向に」と説明。社員に陽性患者が出た場合は「青森市の保健所では本人から行動歴を聞き、出社歴があれば職場に連絡し、当該社員の休職及び職場における接触者リストの提出を依頼する」と話した。

続いて、組合員である(株)マ

ていた交差点付近は遠くまで見渡せるようになり、歩道も快適に通行できるようになった。

同隊では今後、問屋町地区の残りの区間や第二問屋町の街路樹下枝刈り及び除草作業を予定している。



問屋町緑のボランティア隊

ツダアンフィニ青森の問屋町カーサービス事業部の梅田部長が、同事業部の取扱いサービスを紹介した。

2019年に新工場に移転した同事業部では、車検、点検、修理、外装等のサービスを提供しており、マツダ車に限らず全メーカー対応可能。

現在、問屋町の従業員限定で『らくらく1日車検』を実施中。同サービスは個人の車の車検が対象で、WEBで24時間簡単に予約できる。梅田部長は「勤務先に引取りに行き、車検完了後は納車します。出社から退社までに車検が完了するのでぜひご利用ください」とアピールした。

最後にNPO法人コミュ

問屋町地区健康診断

8月5日(水)に問屋町会館2階大会議室において、「問屋町地区健康診断」と題する一般市民を対象とした健康診断が実施された。6月から8月にかけて計3回行われた同健康診断は、組合員をはじめ問屋町の近隣企業従業員ら74名が受診した。

問屋町地区健康診断は、青森市南部の健康づくりの拠点として、2017年度から実施。問屋町での受診機会が増えるのとあつて大変好評を得ている。

西川理事長は「不登校が長引けば社会に戻りづらくなり、引きこもりになる可能性が高くなる。フリースクールは不登校の子供達の居場所となり、社会的自立への支援を行う」とフリースクールの果たす役割について説明した。

あおもりサニーヒルは2018年開校で、小学生から18歳までの児童・生徒及びその家族を支援。学習しやすい環境づくり、異世代間交流や生の体験、利用者への情報提供や学校との連絡相談を行う。

課題は運営資金不足で「不

同健康診断では全国健康保険協会(協会)の生活習慣病予防健康診断も可能となっており、胸部レントゲンや心電図検査に加え胃部レントゲン検査も行う。今後も更なるサービスクラスを充て、受診率向上に寄与していく。



問屋町地区健康診断



組合員昼食会

車のことならまかせて安心 (株)マツダアンフィニ青森 問屋町カーサービス事業部 〒030-0131 青森市問屋町一丁目7-10 電話(017)738-4505 FAX(017)738-4556

いつもそばに 地域と共に ...未来へ 吉田産業 株式会社吉田産業 青森支店 支店長 中村 好昭 〒030-0131 青森県青森市問屋町2丁目19-14 TEL:017-728-2111 FAX:017-738-8110 建設資材、土木資材の販売および施工、気象情報の販売

問屋町たんしん

▽インフルエンザ集団予防接種

- ①日時 10月26日(月) 13時30分～16時30分
- 10月27日(火) 9時30分～12時30分
- 10月28日(水) 13時30分～16時30分
- 10月29日(木) 13時30分～16時30分
- 10月30日(金) 9時30分～11時30分
- 10月30日(金) 13時30分～16時30分
- ②会場 問屋町会館 2階大会議室
- ③実施機関

成田あつしクリニック
④料金 1人2,800円(税込)
⑤定員 1,600名

アオモリボウル(青森市安方)
③参加料 1人1,200円(税込)
※2ゲーム開催
④定員 120名
⑤表彰式

6日▽組合員昼食会
17日▽金融審査会
20日▽第5回問屋町合同清掃
23日▽第2回緑のボランティア
24日▽第5回理事会
25日▽安協問屋町支部第2回街頭指導
27日▽第1回SDGs推進委員会

業務報告

主要事項

- 8月5日▽第3回問屋町地区健康診断
- 20日▽会計経理の基礎講座・実践編①
- 25日▽会計経理の基礎講座・実践編②
- 27日▽会計経理の基礎講座・実践編③

問屋町ビジネススクール

- 20日▽会計経理の基礎講座・実践編①
- 25日▽会計経理の基礎講座・実践編②
- 27日▽会計経理の基礎講座・実践編③

経済雑感 第一〇九回

日本銀行青森支店 支店長 勝浦 大達

前号に引き続き、日本銀行青森支店の勝浦支店長による経済雑感をお送りする。前回、銀行券の発行高のデータについて触れました。折しも今年、国の最も基礎的なデータを収集する国勢調査が100周年。今回は、経済活動を示すデータに関する最近の動きについて触れます。

経済活動を示すデータには、実質GDP、鉱工業生産指数、有効求人倍率など様々なものがありますが、月または四半期ごとのものが多くなっています。しかし、今回のコロナ禍のように、状況が急激に変化する



日本銀行青森支店 支店長 勝浦 大達 氏

局面では、月次などよりもタイムリーに実情を把握するニーズが強まります。この点に関して、昨今、ビッグデータの整備が進んでいることもあり、新たに日次や週次などのデータを利用できる情報基盤が整備されつつあることが注目されます。

こうした場合、情報基盤の一つとして、「V-RESAS」があります。V-RESASとは、「V」が「Visual」(可視化)、「RESAS」が「Regional Economic Statistics」(地域経済分析システム)の英語の頭文字をとったもので、リアルタイムと呼ばれています。https://ress.go.jp/は、地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房(まち・ひと・し

ごと創生本部事務局)が提供しており、誰でも地域経済に関する様々なデータを確認することができ、そのRESASが最近パワーアップされ、都道府県や地域ブロック別に週次などのデータを見ることができるようになりました。S1(https://v-ress.go.jp/)が提供されるようになり、当店でも利用し始めています。

V-RESASで提供されているデータには、例えば、「推定居住地」との滞在人口(前年同週比)があります。これは、スマートフォンの上で取得したGPSデータを基に、人の動きを居住地別

に把握するものです。具体的には、青森県に、青森県以外の都道府県の人滞りした状況について、お盆の頃に前年同週比で約6割減となった後、8月末にかけて同3割減程度となっている、といったことが分かります。ほかにも、飲食店情報(ジャンル別)の閲覧状況や検索カテゴリー毎の検索人数などが県別に把握できたりします。

今回紹介したデータにも、データ特有のクセがあり得るため、今後そうした点で、活用時の確認が高まっていくでしょう。皆様も、ステイホームの御供にご関心のある経済データをご覧になってみてはいかがでしょうか。(完)

サービス付き高齢者向け住宅 県内24棟運営 シニアマンション・シルバーピュア

高齢者の方に、明るく、清潔なバリアフリーの住居を提供し心身ともに健康を維持、回復していただくことを支援しています。

有限会社ファイナンシャル・サポート 特定非営利活動法人ラ・シャリテ (株)MT・Community

■月額70,000～100,000
■全室個室・専有面積12.5～14帖
(バス・トイレ・キッチン・収納・冷暖房・緊急通報装置完備)
■安心できる生活サポートサービス
■お一人お一人に合わせた介護サービス

青森市第二問屋町3丁目3番31号
TEL 017-739-6538
FAX 017-762-2357
0120-934-741

株式会社 小山商会 青森出張所

青森市問屋町一丁目14-5
TEL (017)728-5680 FAX (017)728-5681

営業種目
総合寝具リース 本社 仙台市青葉区花京院二丁目2番75号(小山ビル)
病院用寝具 TEL 022(265)9701(代) FAX 022(265)7615
ホテルリネンサプライ 支店 仙台・東京・名古屋・大阪
フードサービス 営業所 札幌・青森・盛岡・郡山・北関東・筑波
千葉・静岡・京都・岡山・福岡
工場 本社・札幌・関東・静岡・中部・関西

鴨沢塗料株式会社 青森支店

日本ペイント特約店

■主要品目
塗料全般、塗料資材、塗装機、接着剤、各種テープ、溶剤類、他

青森支店 青森市問屋町一丁目12-4 TEL (017)738-1771(代)
E-MAIL: aomori@kamosawa.co.jp FAX (017)738-1772

STS ロジスティクス・ソリューション

株式会社 新開トランスポートシステムズ

◆総合物流事業
包装・輸送・保管・荷役・搬入・据付・搬去
○包装資材加工及び物流機器の販売
○技術・情報システムのソフト開発及び販売
○工場クリーンルーム内の搬入・据付・搬出・輸送
○医療機器・半導体装置・精密機器・その他機器の輸送・搬入・据付・搬去
○倉庫内セキュリティ完備・一部空調設備有り

◆電気通信工事サポート
◆物流システム設計
◆ネットワーク&フットワーク
輸送ネットワーク・情報ネットワーク・フットワーク
◆産業廃棄物収集運搬

本社 TEL: 03-5653-9335 FAX: 03-5653-9337
青森出張所 TEL: 017-728-7080 FAX: 017-728-7081

問屋町地区枝線道路舗装修繕される

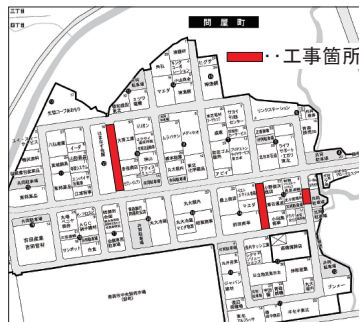
青森市では当組合からの要望を受けて、8月に、問屋町地区枝線道路舗装の一部修繕工事を実施した。同工事では、青森市はまなす会館前など、問屋町地区でも特に路面損傷が激しかった箇所にも全面アスファルト舗装を施した。

卸団地内の道路は当組合が団地造成時に他のインフラと一緒に整備し、その後青森市に寄付。維持管理は市が担っている。現在、問屋町地区の幹線道路は歩道も含め全面アスファルト舗装されているが、枝線道路は造成当時のま

まのコンクリート舗装となっていた。一部アスファルトで補修はされているが、劣化による損傷で凹凸も多くみられ、車の通行に支障をきたしている。また、歩道も造成当時のままブロック板となっており、街路樹等の影響で隆起

や陥没している箇所が多く、大変歩きづらい状態となっている。そこで組合では、2018年3月に、青森市に對して問屋町地区枝線道路の早期整備を要望した。

このたび市の予算措置がなされ、一部区間ではあるがアスファルト舗装が施され、車の安全でスムーズな通行が期待される。



施工後



施工前

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、今年6月に赴任された、(株)青森銀行問屋町支店の野澤支店長にお話を伺った。

同行の取り組み等について尋ねると「昨年4月にスタートした第16次中期経営計画『Change the Future』では、当行の目指す姿として『地域・お客さまとともに、豊かで幸せな未来を創る』(Only One Concept)を掲げています。基本戦略である地域・お客さま本位でのコンサルを取り組む実践への積極的な取り組みでは、昨年10月にコンサルティング会社『あおもり創

生パートナーズ(株)を設立しました。同社はこの中期経営計画具現化の一環として、多様化するお客様のニーズや経営課題、ならびに地域の課題に對してこれまで以上に幅広くより深いご相談に応じ、中長期的にサポートしていきます」と語る。



(株)青森銀行 問屋町支店 支店長 野澤 淳 氏

新任地での目標等について伺うと「問屋町支店は来年9月で支店開設50周年を迎えます。周年行事となり、営業推進を大きく打ち出し、お客様感謝デーなどを企画しますが、コロナ禍の中でどのような企画をし、今までもどう変えていくかを考えています。通常半年前から準備を始めますが、50周年に向けて頑張っていこうという意識が支店の行員一同、今から高まっています。支店の雰囲気はともて大事だと考えているので、若手でも意見を言えるような風通しの良い職場にしたいと思っています」とアピール。

問屋町の印象について聞くと「青森市内の支店勤務は初めてなので、駅から遠く卸会社が密集しているというイメージしかありませんでしたが、赴任してみると整然としていて緑の手入れをきちんとしているのだという印象を受けました」と話す。

座右の銘は一期一会。「転勤も多く様々な地域で仕事をしていると、いろいろな場所でお客様に会います。それが仕事に繋がるだけでなく、声をかけてきてくれるのが嬉しいですね。人の縁を大事にしたいと常に思っています」と微笑んだ。(48歳) (藤本)

編集後記

7年8ヵ月続いた安倍首相が退任し、9月16日、菅新政権がスタートしました。地価下落に苦しんでいた当組合にとって、アベノミクスがデフレにブレーキをかけてくれたことには、正直感謝しております。一方でお伝えしたように、組合では今年度からSDGs(エス・ディー・ジーズ)に取り組むこととしSDGs推進委員会を立ち上げました。横文字のSDGs。組合は、また流行りのハンテンを着るのかと言われそうですが、この運動は、国連サミットで採択されて既に五年経過している、世界に共通する大きな目標(ゴール)だそうです。渋澤健一著『SDGs投資』によると、SDGsの背景には世界の人口動態の変化があるとのこと。世界のマジョリティの多くは、インドネシア、インド、アフリカなどの新興国に暮らしています。彼ら若い世代が求めているのは何か。先進国の一般市民が得ている「普通の生活」や「日々の仕事」です。私たちが日本人にとっては当たり前のことが、世界のマジョリティにとっては理想の人生です。SDGsの理念とは「持続可能な開発目標」で、貧困層・難民・無国籍の人々を含めて「誰ひとり取り残さない」世界の実現を、2030年までを目指す、世界規模の開発目標です。世界各国のSDGsへの取り組みに比べ日本は、かなり遅れているようです。そうした中、SDGs推進委員会の組合員委員三社(株)リビエラ・リコージャパン(株)・コープあおもりの先進的な取り組みは大変刺激的なものでした。組合も、組合の三つの価値(経済・社会・文化)創出事業に連関させ勉強していきます。

未来からの、ありがとうのために。青森銀行

印刷もお願いできないかな? あの手だけ折り込みたい! イベントも一緒にお願いしたい! デザインから頼む事は出来ますか? 広告でお困りなら 青森読売ISへ!!! 〒030-0131 青森市問屋町一丁目5番12号 TEL: 017(718)5160 FAX: 017(764)3840